

Paul M. Grant, PhD

ベック研究所リカバリーを目指す認知療法センター

リサーチ・イノベーション・プラクティスセンターディレクター



ポール・グラント博士はベック研究所リカバリーを目指す認知療法部門リサーチ・イノベーション・プラクティスセンターのセンター長である。アーロン・T・ベック医師とともにリカバリーを目指す認知療法を立ち上げ、発展させた。その中で、リカバリーを目指す認知療法の妥当性を検証するための基礎となる研究を行った。グラント博士にはNational Alliance on Mental Illness、ニュージャージー医科歯科大学University of Medicine and Dentistry of New Jersey、行動療法・認知療法学会Association for Behavioral and Cognitive Therapiesから賞が授与されている。グラント博士は集団、家族、施設内でのCT-Rアプローチ、そして国内外での大規模なCT-Rの普及の指導に当たった。これまで様々な革新的な実施ツールを発展させ、CT-Rの成果の媒介要因であるポジティブ信念および治療チームのカルチャーの改革に関する研究に携わってきた。共著に「*Recovery-Oriented Cognitive Therapy for Serious Mental Health Conditions*」「*Schizophrenia: Cognitive Theory, Research, and Therapy*」、そして近く発表される「*Thriving Together Through Schizophrenia*」など。